



にほんまつ

平成30年11月30日

No.10

実りの秋 収穫の秋

4・5・6年生が第二小の歌声を
▼響かせてきた郡市連合音楽会



◀ 6年生がおいしい松茸
ご飯を炊いてくれて、
地域の方と楽しく味わ
った収穫祭



▲今年は今クラスでICT機器を活用
した喬木村授業公開日

◀子どもも大人も人権について考えた
人権教育参観日とPTA講演会

11月21日の校長講話 「想像する力を養う」

先週は、ICTの公開研究会や収穫祭がありました。みんなそれぞれ活躍できてよかったと思います。きょうは、11月21日。なかよし月間での自分やクラスのお友だちとの生活はどうだったでしょうか。今月もあと10日ですから、もうすぐ12月です。今年もあと少しですね。

さて、きょうは、「想像する力を養おう」というお話をしたいと思います。想像するとは、「心の中で思い浮かべること」です。

どうしてこのようなお話を皆さんにしようと思ったのか、まずお話しします。10月の校長講話の時、「私の妹」という絵本を紹介し、皆さんに聞いてもらいました。その時の感想を4年生と6年生のお友だちが校長先生に届けてくれました。6年生の感想を読ませてもらった時に、これは是非次の校長講話で紹介したいなと感じたからなのです。愛里さんはこんなことを書いてくれました。「きっといじめている人は、そんなにひどいことを言っているとは思ってなくて、時がたてば忘れるけど、いじめられた人にとっては、心のダメージになり、一生忘れられないかもしれない」また、瑞樹君は次のように書いてくれました。「もしかしたら、ちょっとした一言で、友だちが傷ついているかもしれないことに考えを持ちました。」さらに、「思いついたことをすぐ口に出すのも、言っているのか、だめなのかをしっかりと考えてから言うように気をつけていこうと思いました。ありがとうございました。」

もしかしたらとか、きっとという言葉の中に、人の気持ちを考える力の育ちを感じました。

さあ本題です。私がこれから、ある食べ物の特徴をいいますから、みなさんは、頭の中で「どんな食べ物かな」と考えてみてください。

- ① 甘い食べ物です。
- ② 上から見ると三角のような形をしています。

③ 上はやわらかいクリームのようなもので覆われています。

④ その下はふわふわしたスポンジのような感じです。

どうですか、どんな食べ物を思い浮かべましたか？ どうやら、私が考えていたような食べ物を、みなさんも思い浮かべたようです。

《ショートケーキの絵》

私はこんな食べ物のことを言ったのですが、みなさんはどうでしたか。

《チョコレートケーキの絵》

みなさんの中には、こんなケーキを思い浮かべた人もいますね。 《別のケーキの絵》

こんなケーキもありますね。

どれも正解です。私が言った食べ物の特徴から、自分なりのケーキを思い浮かべました。

こうやって、心の中でいろいろ思い浮かべることを、「想像する」と言います。

もう一つ思い浮かべる練習をしてみましょう。私が、ある人の特徴をいいますから、どんな人なのか思い浮かべてみてくださいね。

モンゴメリという人が作ったお話の中に出てくる人です。

女の子は、年は10歳くらい、青いハート模様のワンピースにそばかすだらけの顔と、緑色の目。そしてなによりも真っ赤な髪の毛。

さあ、みなさんは、どんな子を思い浮かべますか。

ある人は、この女の子をこんなふうに絵にしました。

《女性の絵を見せる》

こんなふうに思い浮かべてかいた人もいます。

《続いて別の絵を見せる》

こうして、いくつかの絵を見ると、「ぼくが思い浮かべた女の子と似てるな」とか「私が思った様子と少し違うな」とか、いろいろなことを思いますね。楽しいですね。

「想像する」って、とっても楽しいことなんですね。

そして、ただ楽しいだけではありません。想像する力（思い浮かべる力）を鍛えていくと、とてもいいことがあります。

友だちが悲しんでいたり、苦しんでいたら、「どうしたのかな」とか「だいじょうぶかな」と、友だちの悲しみや苦しみを想像して、いっしょに悲しんだり苦しんだりしてあげることができま。友だちがうれしいと思っていることも、想像する力があればいっしょに喜んであげることができま。友だちに、「こんなことを言うと心が傷つくだろうな」と想像することができれば、友だちが傷つくような言葉は言わなくて済みます。そうすれば、友だちともっともっと仲良くなることができます。

このような想像力を養うにはどうすればよいでしょう。

12月10日(月)から、読書旬間が始まります。読書(本を読むこと)は想像する力を鍛えるのにとってもよい活動です。いつも以上にたくさん本を読みま。そして、みなさんの「想像の翼」をいっぱい大きく広げて、たくさん本に親しみま。

ところで、先ほどの女の子の名前は「アン・シャーリー」といいます。美しい夢をつくり出す想像力や決して希望を失わない明るさ、あふれるほどの愛情を持って難しいことを乗り越えていく、魅力的な女の子です。図書館には『赤毛のアン』という名前で2種類入っています。ぜひ読んでみてください。

非違行為根絶へ向けて

今年度は、県教職員による非違行為の中で、酒気帯び運転が続きました。

ニュースや新聞報道で知り、同じ職業に就いている者として、驚きや悲しみを感。第二小学校ではこのように、話題にしたり、研修を重ねたりしてきました。そして、目の前の子ども達、保護者の皆様、地域の皆様から、信頼される番木第二小職員であるように、今までも、そしてこれからも精一杯勤めます。私たち番木第二小職員は、平成24年8月20日に非違行為撲滅の誓いを文書で表し、自らの行動の指針を定め互いの協力と支え合いにより引き続き実行していきます。

一、私たちは、教育公務員として、法令や諸規則に忠実に従って職務を遂行するとともに、私生活においても節度ある生活をし、社会的な信頼を得られるよう努力する。

二、犯罪に当たる行為に対して厳しい態度で臨み、自らを律するとともに、これを許さない姿勢を堅持する。特に、飲酒運転や迷惑防止条例違反、体罰や暴力など、人に直接の危害をあたえるような犯罪行為に対しては、常に潔癖を保つ。

三、教育公務員の公僕たる地位を常に頭に置き、児童、保護者、地域住民を尊重し、専ら子どもの健やかな成長を期して職務を遂行する。また、これら人に対するときは、常に敬愛の念をもって接する。

四、同僚職員の中に、これらのことで悩みを抱える者があれば、学校長をはじめ諸職員に相談し、適切な解決に向けて全職員を挙げて取り組む。また、常に信頼しあえる職員間の関係を築く努力をし、相談しやすいく、雰囲気醸成に向けて努力する。